



# 北方領土

令和4年3月(第14号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

## 福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

### 令和3年度北方領土に関する標語・キャッチコピーについて

(独)北方領土問題対策協会では、毎年、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論を喚起するため、標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では 12,672 作品(前年度 10,450 作品)の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。

**最優秀賞** 「手を繋ぎ 返還願う 大きな輪」 河谷 亜翔夢 (京都府)

**優秀賞** 「返還へ 美しき四島(しま)に 思い馳せ」 三箇 悠斗 (千葉県) ほか3名

### 北方領土返還運動全国強調月間【令和3年8月】

8月の「北方領土返還運動全国強調月間」では、コロナ禍のもと、全国で各種媒体による広報やパネル展などの行事が実施され、返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、初めての試みとして、8月1日から7日まで、3媒体(Instagram、Twitter、Yahoo!)により SNS 広告事業を実施しました。SNS にバナー広告を掲載し、見た人がクリックすると、(独)北方領土問題対策協会のホームページに遷移するという仕組みです。7日間の合計で、広告を見られた回数は 889,179 回、クリック数は 1,084 回という結果でした。

※ SNS・・・Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略。登録した利用者だけが参加できるインターネットの WEB サイトのこと。(出典:総務省 国民のための情報セキュリティサイト用語辞典)



↑ SNS バナー広告のイメージ



↑ 県庁県民ルームでの広報

## 北方領土返還要求北海道・東北国民大会【令和3年8月27日】

本大会は、北方領土問題の具体的な進展が図られることを期待するとともに、関係機関・団体が連携し、政府の外交交渉を強力に支援していき、確固とした意思のもとに返還要求運動を粘り強く推進し、国民世論の結集を図るものです。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため無観客で開催し、大会の様子はインターネットでライブ配信されました。

大会宣言では、「新型コロナウイルスの影響により、交流事業等が見送られている中、ロシア首相が択捉島を訪問するなど、日露双方の隔たりは大きいと、政府に対し、今後ともロシアとの交渉を強力に進め、一日も早く具体的な成果が得られることを期待する。」とのあいさつがありました。



↑ 客席



↑ 大会の様子

(写真提供:公益社団法人北方領土復帰期成同盟)

## 令和3年度北方領土青少年交流のつどいの開催【令和3年12月27日】

本事業は、北海道・東北の各道県の中学生が集まり、北方領土問題の早期解決のため、次代を担う青少年が北方領土問題に関する正しい知識を身につけることを目的とするもので、毎年持ち回りで開催しています。今年度は本県民会議が主管となり、新型コロナウイルスの影響を考慮し、北海道・東北ブロックとしては初めてオンラインで行いました。

本県からは、いわき市立豊間中学校の生徒2名及び教員1名が参加し、(独)北方領土問題対策協会作成の動画視聴及び元島民語り部(色丹島出身 得能 宏氏)の講話を通して、各道県から参加した生徒と意見交換を行い、北方領土問題に関する知識を深めました。また、福島県北方領土問題教育者会議の鈴木会長がオブザーバーとしてつどいの模様を参観しました。

意見交換では、参加した生徒たちから、「北方領土問題は、社会の授業のみであまり深い部分まで知ることはなかったが、実際に元島民の方のお話を聞いて、悲惨な状況のなか避難したという状況を知り、身近に感じた。現在、島にロシアの人が住んでいるということは、ロシアから返還してもらおうことで、もしかしたらその人たちのふるさとを奪ってしまうのかもしれないと、難しさを感じた。日本とロシアの両方にとって幸せになれるような方法で解決されると良いと心から思う。」「北方領土問題はいつ解決できるかわからないが、日本とロシアが話し合いを進めることで、お互いが状況を理解し合うことが大切だと思った。社会では、島の名前の知識しかなかったので、今日聞いたことをクラスの周りの人にも伝えたいと思った。」等の発表がありました。



↑ つどいの意見交換



↑ 動画視聴「北方領土及び啓発施設視察動画」



↑ 事務局の様子

## 令和3年度北海道・東北ブロック連絡協議会の開催【令和3年12月27日】

この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会し、情報の共有や今後の課題等について協議を行うものです。今年度は本県民会議が主管となり、青少年交流のつどいと同日、オンラインで開催しました。

会議では、主催者である本県民会議の増子事務局長から、「引き続き道県及び全国の都道府県民会議と歩調を合わせながら幅広く、粘り強い運動を展開してまいります。」とのあいさつの後、内閣府、外務省及び(独)北方領土問題対策協会の担当者から報告事項がありました。

協議事項では、本県民会議から、北方領土問題に関する共通認識の仕組み作りについての問題提起を投げかけ、出席者と意見交換を行いました。



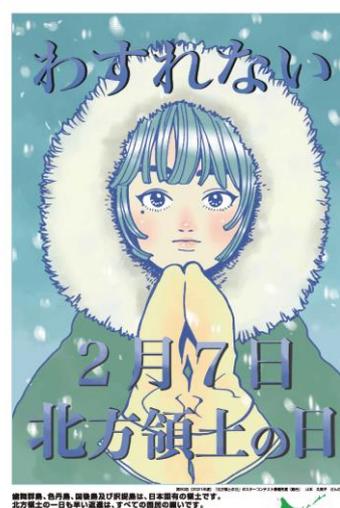
## 北方領土返還運動全国強調月間【令和4年2月】

2月7日は「北方領土の日」です。「北方領土の日」とは、北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図り、北方領土問題の国民の関心と理解を更に深めるために制定された日のことを指します。

本民会議では、2月の北方領土全国強調月間にあわせ、県庁パネル展、県内4市(福島、郡山、いわき、会津若松)の路線バスのフロントマスク啓発広告、県内主要駅(JR 福島駅、郡山駅、会津若松駅、いわき駅、新白河駅)におけるポスターの掲示、福島交通飯坂線車内における中吊り広告、大型ビジョン(福島駅前、郡山駅前)における啓発動画放映、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6、7日に県内全域でラジオスポット CM を放送しました。さらに、8月の強調月間の際に実施した SNS 広告事業を2月1日から7日まで実施し、8月よりも多くの反響がありました(広告を見られた回数:2,268,446回、クリック数:2,608回)。



↑ 県庁舎パネル展



令和3年度「北方領土の日」ポスターコンテスト↑  
(北海道庁主催)最優秀賞受賞作品

## 令和3年度北方領土に関する全国スピーチコンテスト【令和4年3月】

このスピーチコンテストは、次代を担う若い世代(対象:中学生)が北方領土問題を身近な問題として捉え、この問題に関心を持ち、北方領土に関する歴史等を正しく理解することをねらいとし、より一層の北方領土教育の充実と強化を図ることを目的として、平成23年度から実施されています。

今年度は6,184作品(昨年度3,625作品)の応募があり、第2次選考を通過した10名がWEBによる最終選考会に進みました。審査結果は後日発表されます。

### 【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議  
事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16 (福島県総務部県民広聴室内)  
Tel:024-521-7013  
Fax:024-521-7934  
Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」